

Sonata Series 2010

川畠成道 & 岡田博美

ヴァイオリン(Vn)

ピアノ(Pf)




(C) Clive Barda

曲 目

ブラームス: ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 Op. 100
 ロベルト・シューマン: ヴァイオリン・ソナタ 第1番 イ短調 Op. 105
 クララ・シューマン: 3つのロマンス Op. 22より第1番
 ブラームス: ヴァイオリン・ソナタ 第3番 ニ短調 Op. 108

2010年9月11日(土) 13:00開場 13:30開演

S席 5,500円
 A席 4,500円

 紀尾井ホール

Kioi Hall

チケット一般発売日: 2010年5月17日(月)

チケット
 取り扱い

株式会社せきれい社 ☎03-5414-5914(土日祝休)
 紀尾井ホールチケットセンター ☎03-3237-0061
 チケットぴあ ☎0570-02-9999(Pコード 106-818)

主催

オフィス・ポー・トゥリー株式会社

協賛

日本ユニシス株式会社

協力

ビクターエンタテインメント株式会社
 株式会社せきれい社

お問い合わせ

株式会社せきれい社 ☎03-5414-5914(土日祝休)



川島成道 Narimichi Kawabata

(ヴァイオリン violin)

岡田博美 Hiromi Okada

(ピアノ piano)

Profile

1971年、東京生まれ。現在、英国と日本を拠点にソリストとして精力的な演奏活動を展開している。視覚障害を負った幼少期にヴァイオリンと出会い、音楽の勉強を始める。桐朋学園大学卒業後、英国王立音楽院へ留学。97年、英国王立音楽院175周年記念コンサートでソリストとして抜擢される。同年、スペシャル・アーティスト・ステータスの称号を授与され首席卒業。98年、東京サントリーホールにおいて小林研一郎指揮、日本フィルとの共演でデビュー。その後毎年、数多くのオーケストラとの共演も行う。



99年リリースのファーストアルバム「歌の翼に」(ビクター)が20万枚の記録的大ヒットとなり各地で売り切れ公演が続出、大きな話題を集める。セカンドCD「アヴェ・マリア」も再びクラシックチャート1位を記録。その後はヨーロッパを中心に活動、高い評価を得る。2004年、英国にてマリア・ジョアン・ヒリス、ハインリッヒ・シフ等と共にチャールズ皇太子主催のリサイタルシリーズに邦人アーティストとして唯一人招かれ、英国人ピアニストとのデュオで現地メディアから高い評価を得た。05年、イタリア・ボローニャ歌劇場にて開催されたボローニャ歌劇場室内合奏団とのヴィヴァルディ「四季」の演奏は、満員の観衆が総立ちとなる喝采を受けた。同年、同楽団とのCD「川島成道の四季」をリリース。モーツァルト生誕250周年の06年は、ユベール・スダーン指揮ザルツブルグ・モーツァルト管弦楽団の日本ツアーのソリストに起用された他、米国、中国等でリサイタルツアーを開催。07年、スロヴェニア国立マリポール歌劇場管弦楽団との共演でヴォルフ・フェラーリ作曲「ヴァイオリン協奏曲二長調」を日本初演、また同楽団のスロヴェニア公演でもソリストを務める。08年、デビュー10周年を記念した9枚目のアルバム「ザ・ベスト 川島成道」をリリースし、レコード芸術誌で特選盤となる。エフエム世田谷「川島成道のレディオ・ストリングス」で初のパーソナリティーをつとめるなど、新たな分野にも挑戦している。デビュー当初より音楽活動の傍ら、積極的に国内外でチャリティコンサートを行う。中学音楽鑑賞教材や高校英語教科書に映像や文章が使用されている等、社会派アーティストとしても多方面に影響を与えている。

<川島成道公式サイト> <http://www.kawabatanarimichi.jp>

Profile

富山県出身。安藤仁一郎、森安芳樹、マリア・クルチオの各氏に師事する。桐朋学園大学在学中、第48回日本音楽コンクールで第1位優勝。桐朋学園大学を首席で卒業後、1982年第28回マリア・カナルス国際コンクールで第1位(スペイン音楽解釈賞を併せて受賞)、1983年第2回日本国際音楽コンクールピアノ部門第1位、1984年第2回プレトリア国際コンクールにて第1位(リサイタル賞を併せて受賞)と、次々に優勝を果たし注目を集める。1984年よりロンドン在住。



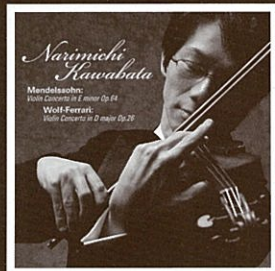
(C) Clive Barda

翌1985年、ロンドンでデビューリサイタルを行い、「まさしく来るべきスター」(デイリーテレグラフ紙)、「図抜けて確かなテクニックで、創造力に富む情熱的な音楽性」(タイムズ紙)と絶賛された。以後、ロンドンを中心にヨーロッパ各地で演奏活動を続けながら、日本においても、毎年意欲的なプログラムによるリサイタルを開催し、好評を博している。1993年のショパン・エチュード全曲演奏に対して第20回日本ショパン協会賞を受賞している。オーケストラとの共演では、これまで1987年にフィルハーモニア管弦楽団とロイヤル・フェスティバル・ホールにてデビューを果たした後、BBC交響楽団、ロイヤル・フィルハーモニック管弦楽団、イギリス室内管弦楽団と、また日本ではNHK交響楽団、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団ほか、多数のオーケストラと協演。古典から現代曲までの幅広いレパートリーを持ち、2000年には横浜で開かれた「アジア音楽週間」において、イスラエルの作曲家A.ベン=シャベタイのピアノ協奏曲を世界初演。各地の音楽祭へもたびたび出演しており、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ・フェスティバル(フランス)、グレート・ロマンティクス・フェスティバル(カナダ・ハミルトン)、イスタンブール国際ピアノ・フェスティバル、シュタインバッハ音楽祭(オーストリア)、東京の夏音楽祭、草津音楽祭などに出演している。録音も多く、カメラータ・トウキョウからは継続的にソロ、室内楽の分野でCDが発売され、いずれも高い評価をもって迎えられている。NAXOSからも「矢代秋雄：ピアノ協奏曲」、「早坂文雄：ピアノ協奏曲」が発売され、好評を博しており、ますます活躍の幅を広げている。

川島成道10枚目のアルバム

「メンデルスゾーン&ヴォルフ=フェラーリ ヴァイオリン協奏曲集」
ビクターエンタテインメントより5月19日に発売

川島成道にとって10枚目のアルバムは、5年前に発売したヴィヴァルディの「四季」に続く自身2枚目の協奏曲アルバム。三大ヴァイオリン協奏曲のひとつ、メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲と、メンデルスゾーンの作風に似たロマン派独特の優美なメロディーが特徴的なヴォルフ=フェラーリのヴァイオリン協奏曲です。



<収録曲>

- 1 メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 小短調 Op.64
- 2 ヴォルフ=フェラーリ：ヴァイオリン協奏曲 二長調 Op.26

紀尾井ホール

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町6番5号
☎ 03-5276-4500(代表)

- ACCESS 最寄駅
- ・四ツ谷駅 (JR線・丸の内線・南北線) 麴町口 徒歩6分
 - ・麴町駅 2番出口 (有楽町線) 徒歩8分
 - ・赤坂見附駅 D出口 (銀座線・丸の内線) 徒歩8分
 - ・永田町駅 7番出口 (半蔵門線・有楽町線) 徒歩8分

